

ポスターA-5

ポスター発表(研究)

## 文化的・言語的に多様な背景を持ったセクシャルマイノリティの 生徒のケース・スタディ

—複数のマイノリティ性を持ち合せた CLD 生への支援を考える—

潘寧 (臺北城市科技大学)

本発表は、セクシャルマイノリティでありながら、文化的・言語的に多様な背景を持つ生徒 (Culturally Linguistically Diverse Student 以下 CLD 生)、智永のケース・スタディを通し、言語、民族、性的指向などといった複数のマイノリティ性がアイデンティティの確立過程にもたらした影響を分析したものである。

本発表により、様々な背景や立場を持った支援者たちに、言語や民族以外にもマイノリティ性を持った CLD 生に対する配慮・関心を呼び起こしたい。また、複数のマイノリティ性を持つことから生じたアイデンティティの危機に目を向け、その対処につながる支援を日本語の授業に組みこむ可能性を示す。

本発表で分析するデータは、主に、筆者が智永の母語支援者として活動した 2014 年～2015 年の 1 年間のフィールドノート、智永との雑談や SNS ソフトによる会話記録を含んでいる。分析の手順として、まず、音声データの文字化を行い、語りの内容を KJ 法で複数のカテゴリーに分け、その命名を行った。語りを分析した結果、複数のマイノリティ性を持つ CLD 生が自らのエスニックコミュニティ内での排除を経験した後、周囲の態度の変化から対人的疎外感、自尊感情の低下を感じた。さらに、自己否定感を克服し、自らのアイデンティティを再構築していく過程が明らかになった。

最後に、異性愛者の存在のみを前提とする現在のカリキュラムの問題点を指摘したい。そして、CLD 生がありのままの自分で生きるために、支援者が果たせる役割についても検討する。